

会報

T.U.W.V
OB会

OB会費 (赤-勸銀川崎支店
東北大学ワンダーフォーゲルOB会
振込先 普通口座「370-1881604」

懐しき谷地平、姥ヶ原 — OB山行

佐藤 拓哉 (8期)

懐しき谷地平……去年のOB山行の集中地を決めた時そんな言葉が頭に浮んできた。たけとどんな所であったか景色がなかなか浮んでこない。谷地平……ワンゲルに入った年の春合宿の集中地であった。西大巔から東大巔へかけての大らかな稜線、小雨の中の(?)藤十郎のぬかるみ、土湯までの頭の上までくる笹の中の下り道(あのころはベトコンルートと呼んでいた)などはよく覚えている。しかし谷地平はバテたどりに着いた広い所、沢が流れていた所、そんな記憶しかなかった。

あの時とは全てが異なり、集中した人数はわずかに6人、それといつものようにその家族、天気は快晴……谷地平がこんなに静で広くて美しい所であったとは知らなかった。また来てみてよかった……朝早くみんなで谷地平を散策しながらそんな想いが湧いてきた。

鎌沼から姥ヶ原へ……ワタスゲと種になったチングルマが風にそよいでいた。春先にはイワカガミが一箇に咲いていたような気がする。3年の春合宿では一切経を越えてきて姥ヶ原で一泊したことがある。今度3回目なのに記憶の中の姥ヶ原よりも何倍も素晴らしい所であった。自然と接する機会が少なくなったためかもしれない。

小原(4)×Jr、佐藤(8)一族；浄土平→一切経→姥ヶ原→谷地平◆→東大巔

西(6)×Jr；高湯^命→西吾妻◆→八形石→藤十郎→東大巔→谷地平◆

深(8)一族；浄土平→姥ヶ原→谷地平◆

三日月(8)；峠→明月湖→東大巔→谷地平◆→五色沼→信夫高湯

トピックス：小原さんとは姥ヶ原の姥の前で一緒になり、翌日一緒に東大巔へ登った。

頂上でラーメンを食べていると西さんと三日月君が前後して現われた。

思いがけない山頂での集中となった。

一切経を登る途中に車イスが一台放置されていた。おかしいなーと思っていたら、

鎌沼まで身障者の人が20人程、ボランティアの人に支えられながら——これも一つの価値ある登山。

我家は娘4人 — 伊藤千代子(9期)

今年の春は我家にとってうれしい春でした。フンゲルの卒業式の時一緒に出席して祝ってもらったあのふゆこが中学に入学した。親の方は、ついこの前まで大学に居たような気がするのに。ふゆこのあとにもさやか(小4)、みのり(幼稚園)、のどか(9ヶ月)と子供に恵まれ、にぎやかな限りです。こんなに子供を生んだのは、あの赤ちゃんの天真らんまんな笑顔をいつまでも見ていたいと思うからなのではないか。実際、上の娘は自我の芽生えよろしく何かと反抗的、すぐにカッとなるこの母親とケンカ腰のもの言いとなります。そこにニコッと笑ったのどかを見るとつり上がっていた尻尾もしぶしぶ下がり、最後は二人でのどかをあやすのですからこれ以上の仲直り役はありません。ふゆこも大きくなり、最近はやさたいと言いつつ、食欲の方は一向におとろえません。さやかけ体力の方はちょっと心配ですが、気力十分で、先日も体育の時間には正面衝突、顔をむくませて帰ってきましたが泣かなかったよとちょっと自満気。みのりはまだ頼りないけど、毎日幼稚園に、夏にお山に行くためにとがんばって歩いています。さあ、今年の夏はこの4人を前に6人のファミリーパーティーを組んで山に行きませんか。

≪ 昭和56年度決算 ≫

収入

前年度繰越し 511,287

利息 11,427

会費 46,000

計 568,714

支出

会報、名簿 76,120

香典、他 5,820
(16期田中輝信君)

次年度繰越し 486,774

計 568,714

—— OB山行のお知らせ ——

OB山行も子供、それも小さな小さな子供連れが多くなったので場所が限られてきます。今年も誰でも集れる赤岳鉱泉にしました。

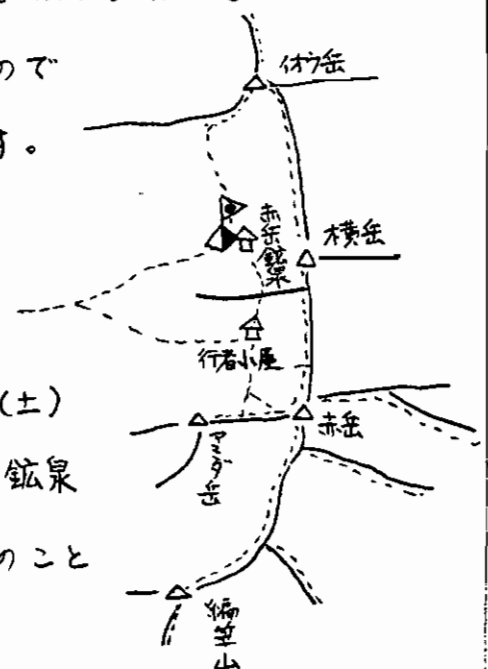
集中日: 8月21日(土)

集中場所: ハナ岳赤岳鉱泉

装備、食糧: 各自用意のこと

照会、連絡先:

佐藤拓哉(0468-41-8622)



昨年4月5日、愛子にある電波高等学校へ移りました。4年生を連れてこの工場研修旅行というのがあり、名古屋製鉄所(新日鉄)へ寄つた際、1期の京極君に卒業以来初めて会いました。しばらく顔を見合わせてから、ぐのおおつかという声が出たところを見ると、お互い少しは変化したということでしょう。山の話は出ませんでしに。

渡辺(1期)

静岡へ来て2年、海、川、山の自然に親しめるところですので、小2・幼稚園の多くの男の子は毎日虫とりなどに夢中になっています。女の子にも恵ま山現在ハイハイで目が離せません。

一昨年おふくるとその友達と一緒に富士山へ登りましたが9日目で撤退。今年の夏はおふくと子供と再挑戦します。

磐田市では市民登山会なども活発で、先日は雨天の為中止でしたが、また次の機会に参加しようと思います。小生はゴルフをやっていますがなかなかうまくなりません。横山雄一郎(5期)

昨年、近況報告を見ながら、何を
書いたら思案し、心から野に遊ぶと
なし。くせ、オノは天変地変の起き
つたよ、お(私)オノは変じなし。

松澤一郎(5)

今報楽しく読ませて頂きます。皆がそれぞれ
分野で活躍される事を励みに努力します。私
は二十数年山行はしていません。そうお知りと、之は申し
訳ありません。ほぼ一年中サッカーをやっています。
足元はフットボール時代です。心にも知らません。ふも昔フットボールを
経験したときに大に南極あると思えます。三子塔がかります。
一人の長男(男)が、中々、ふも女上りのサッカーをい
ます。スポーツを通じて人生を理解することも
できると思っています。フットボールで発展を祈ります。

相沢宏保(5)

本年四月から東北大学文学部に転勤致しました。新
住所は巻記の通りです。昨年秋にアメリカから帰国し、
半年たらずで転勤というあわただしさを味わったのでワシントン
のOB諸兄にも帰国のおいさつもせぬまま失礼してあります。
仙台も駅のおたしが、まっかじ変わわり、一番Jと書いても昔の
顔にはあつたに念いませし。週日二期下の秋田君と偶然市役所
前ですれ違い、スレ振りに痛飲しました。こちらに来てからは
余り本格的な山登りはやってませんが、この内忌宿うしに泉ヶ岳
に登りました。ヒュンテは新築これ見違えるほどです。この夏は
研究室の学生と引こつれて早池峰にも登ろうかと計画を立てて
いる此頃です。皆様も仙台へお越しの節はぜひ御連泊下さい。

野家啓一(10)

(4)

最近、溪流釣りを中心として山へ行くといいです。短い溪流竿一本が、うに入るとおけば、昔の山もまた、いいところと今に思っています。人目のみから、草のきれいな、素晴らしい溪谷美が見られます。三股の滝や、滑滝、人に踏まれることのない、ゴトのジュータン等々、山頂上では、ははは、行きたい。

渡辺勝宏(2)

最近、仕事の都合や、コブ付き(2人)となった事もあり、思う様な山行もできず、長持ちしたければ、昔登った山の地図を引張り出しては、あ、これ構想を練っているのか……。体力もやや不安な現状で、子共を背負子に繰くり付けての日帰り山行は、カツと、悲しい山行きばかりです。

柴田哲彦(14)

編集長より余白を埋めよとの命令により、近況報告を一筆。頭が悪くなってから既に2年経過。幸い再発のきざしもなく、昨夏は女房・子供をOB山行に連れ出し、浄土平から谷地平まで、たまたま歩き歩かせました。おかげで、もう2度と山へは行かないと宣告されました。昨年は丹沢へ何回か“ヒクニック”に行きました。今年は余裕がなく夏休みを待ちわびております。OB山行も行きをいけれど、子供(2才)を背負って一人では行けないし、どうしようかな？

濱 聡(8)

恒例の夏休みの家族登山は、昨年の下のチビ(4才)が自厚の大雲溪と頂上まで、自分の足だけで完登したと3才。今年、蓮華(8) - 朝日岳 - 自厚 - 大池 - 自然園で、3泊4日の縦走をした。天候もますます、予定通り落しこぼれもなく、4人で歩けた。今年、雪度も多く朝日の登りは、バテました。お盆にもかかぬ。自厚以北は、15年前と変ります。静かな山行が楽しめました。

来年は、上のチビが4年になり、カブ・スカウトで鍛えられているので少しは荷物かかるとは、下のチビも、幼稚園の年子組になるので、立山から、薬師 太郎まで、縦走出来ぬかな、と思ってはいますが、フロント、液流りすきかな。大隅の連中もあつ、今年機会が、年2回位にはなっています。OB山行も北ア以西は、行けず、か、と遠くまで、

宗村文司(6)

先日、10期OBの若佐氏が来仙された機会に、比較的年代の近い野家夫妻(10期、14期) 秋田氏(11期)それに私が集まりました。学生時代と全く変わらぬ若佐氏の“若さ”に圧倒されながらも、楽しいひとときを過ごすことができました。酒好きの野家夫妻が、仙台にもどってこられたので、OB諸氏が来仙される場合には、できるだけ席をもうけるように致しますので、ぜひ御連絡下さい。早いもので、我が代もはなればなれになってから7年余り、結婚式でもな、一同が集まる機会がありませんが、それも2年程途絶え、その機会を提供し得るのも残り、人、一休いつになるでしょうか。南江(14期)